

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成25年2月21日(2013.2.21)

【公開番号】特開2011-9152(P2011-9152A)

【公開日】平成23年1月13日(2011.1.13)

【年通号数】公開・登録公報2011-002

【出願番号】特願2009-153716(P2009-153716)

【国際特許分類】

H 01 H 71/74 (2006.01)

H 01 H 73/12 (2006.01)

H 02 H 3/093 (2006.01)

【F I】

H 01 H 71/74

H 01 H 73/12

H 02 H 3/093 D

【手続補正書】

【提出日】平成24年12月28日(2012.12.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

電路に流れる電流を検出する検出手段と、

前記電路を遮断する遮断部と、

前記検出手段で検出した信号を整流し電源を生成する内部電源部と、

この内部電源部から電力が供給され前記検出手段で検出した信号に基づいて演算処理して前記電路に流れる電流が定格電流を超えたときに記憶手段に記憶された所定の時限特性でもって前記遮断部を動作させる制御部と、

前記時限特性の設定値を表示する表示部と

を備えた電子式回路遮断器において、

前記時限特性を外部から入力する時限特性入力回路と、

前記制御部に外部から電力を供給する外部電源入力回路とをさらに備え、

前記外部電源入力回路から規定値以上の電圧が供給された時に前記時限特性入力回路から入力された時限特性が前記記憶手段に記憶されるようにしたこと

ことを特徴とする電子式回路遮断器。

【請求項2】

前記制御部に前記内部電源部と前記外部電源入力回路の双方の電力が並行して供給されるものとし、前記外部電源入力回路から規定値以上の電圧が供給された時に、供給される電圧に基いて前記制御部に判定信号を出力する判定回路を前記外部電源入力回路に備えたことを特徴とする請求項1記載の電子式回路遮断器。

【請求項3】

付属装置を付属装置用コネクタを介して前記制御部と接続する付属装置用入出力回路を備え、前記付属装置から規定値以上の電圧が供給された時に、前記時限特性を設定する操作部から入力された時限特性が前記記憶手段に記憶されると共に、前記表示部に前記時限特性が表示されることを特徴とする請求項1または2記載の電子式回路遮断器。_

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明に係る電子式回路遮断器は、電路に流れる電流を検出する検出手段と、前記電路を遮断する遮断部と、前記検出手段で検出した信号を整流し電源を生成する内部電源部と、この内部電源部から電力が供給され前記検出手段で検出した信号に基づいて演算処理して前記電路に流れる電流が定格電流を超えたときに記憶手段に記憶された所定の時限特性でもって前記遮断部を動作させる制御部と、前記時限特性の設定値を表示する表示部とを備えた電子式回路遮断器において、前記時限特性を外部から入力する時限特性入力回路と、前記制御部に外部から電力を供給する外部電源入力回路とをさらに備え、前記外部電源入力回路から規定値以上の電圧が供給された時に前記時限特性入力回路から入力された時限特性が前記記憶手段に記憶されるようにしたものである。